

平成30年度 群馬大学出張模擬授業一覧【社会情報学部】

平成30年4月10日現在

専攻・分野	授業題目	講師名	職名	授業内容	備 考
社会学	結婚の社会学	伊藤賢一	教授	現代における未婚化・晩婚化現象の分析を通じて、社会的な考え方を学ぶ。	プロジェクタとスクリーンを使用。
情報学・社会学	ジレンマ・パラドクス・可能性の社会情報学	岩井 淳	教授	「情報」をキーワードに、人生の選択や社会的決定の問題について考える。	プロジェクタとスクリーンを使用。
情報学・社会学	社会と情報の不思議な話	岩井 淳	教授	メディア・データ・意思決定の面白いトピックを紹介する。	プロジェクタとスクリーンを使用。
情報学・社会学	意思決定の不思議な世界	岩井 淳	教授	意思決定関連の不思議な話題を紹介する。様々なクイズを出して回答を求める形式で実施する。	プロジェクタとスクリーンを使用。
社会心理学	「私たち」と「あの人たち」ー集団間関係の心理	柿本敏克	教授	集団をつくる動物ヒトがどのような性質を持っているか、それが高度情報社会の形成にどう関わるかを、映像資料を使いながら説明する。	パソコン(PPT資料呈示用)、プロジェクタとDVDプレーヤー、スクリーンを使用。
情報学・社会学	日本文化の情報学	高山利弘	教授	1つの文化的事象の解明には、さまざまな視点からの解明が必要であり、社会情報学部においてはそれが可能となる。	プロジェクタとスクリーンを使用。レジュメを配布。
社会学(社会科学)	あなたも支配者になれる	森谷 健	教授	日常生活の中に潜む支配ー服従関係を知ること、社会を考えるきっかけをつかむ。	プロジェクタとスクリーンを使用。なくても可能。
社会学(社会科学)	高度情報社会で生きやすい性格とは～リースマンの社会的性格から考える～	森谷 健	教授	社会学の古典的な議論を使って、情報社会と人間について考えるきっかけをつかむ。	プロジェクタとスクリーンを使用。なくても可能。

専攻・分野	授業題目	講師名	職名	授業内容	備 考
経営学, 経営組織, サービス・マネジメント	従業員満足と顧客満足から考える経営学の世界 ーサービス業を中心にー	大野富彦	准教授	従業員満足と顧客満足の関係について, サービス業を題材に検討する。10分程度のグループワークあり。	プロジェクタとスクリーンを使用。
経営学, 経営組織, サービス・マネジメント	情報を活かす組織マネジメント ーサービス業を中心にー	大野富彦	准教授	企業・大学・公的機関を問わず, 日々, 様々な情報が収集・蓄積される。そうした情報の活用について, 組織マネジメントの観点から検討する。	プロジェクタとスクリーンを使用。
社会学	日本のソフト・パワー	河島基弘	准教授	日本のアニメや漫画に焦点を当て、文化の力であるソフト・パワーについて考察する。	パワーポイントで説明するので、プロジェクタとスクリーンを使用。
政治学・行政学	メディアと政治	北村 純	准教授	インターネットは政治の世界をどんな風に変えたのか、政治学の考え方を紹介する。	プロジェクタとスクリーンを使用。
経済学	人口減少社会を考える	坂本和靖	准教授	2050年という将来において、どのような社会が待ちうけているのか。その上で、現代日本の労働問題をどう考えていかなければならないかを考える。	プロジェクタとスクリーンを使用。
憲法	情報社会と人権	藤井正希	准教授	最近の話題を素材にして、情報社会の観点から人権や政治を法的に考える	レジュメを配布
憲法	情報社会と政治	藤井正希	准教授	最近の話題を素材にして、情報社会の観点から人権や政治を法的に考える	レジュメを配布
憲法	高度情報社会とメディアリテラシー	藤井正希	准教授	高度情報社会におけるメディアリテラシーの重要性について、報道被害事例を素材に説明	レジュメを配布
憲法	高度情報社会と人権ーマスメディアの役割	藤井正希	准教授	高度情報社会におけるマスメディアの役割, マスメディアと人権との緊張関係について, 報道被害事例を素材に説明	レジュメを配布
社会学	吉田沙保里選手とメディア・リテラシーの社会情報学	平田知久	准教授	情報ソースを読み解くことの難しさと, 情報ソースが確実ではない状況で, どのように「正しい」推論をなすかについて	